

エコチル調査に参加している皆様へ

平素よりエコチル調査にご協力いただきありがとうございます。

現在、千葉大学予防医学センター（エコチル調査千葉ユニットセンター）では、お母さんの血液に含まれるイソフラボンと小児アレルギー疾患との関係についての研究を行っています。（研究課題名「妊娠中の母体血中イソフラボン、イソフラボン代謝物および抱合体濃度と小児アレルギー疾患との関連」）

イソフラボンは大豆に多く含まれている成分です。女性ホルモンのエストロゲンと化学構造が似ているため、植物性エストロゲンとも呼ばれています。

この研究では、妊娠中に採取し保存していたお母さんの血液を用いて、その中に含まれるイソフラボンやイソフラボンからできる物質（代謝物）の量を測定し、お子さんのアレルギー疾患と関連があるかを調べます。質問票や検査のデータも研究に使用します。

解析に用いるデータに個人を特定する情報は含まれません。また、研究結果の報告は個人を特定できない形で行われます。個人情報については、千葉大学予防医学センター内の情報保管室において施錠した状態で保管します。

今回の解析にご自身のデータが利用されることに同意されない場合には、下記問い合わせ先にご連絡ください。同意されなくても、あなたが不利益を受けることはありませんのでご安心下さい。

令和5年10月

千葉大学予防医学センター

森 千里

<問い合わせ先>

エコチル調査千葉ユニットセンター

（担当：久田 文）

TEL. 043-290-3896